



RITSUMEIKAN
UNIVERSITY

第2回教学実践フォーラム

生成系AI時代の論題設定

主旨説明

館 命 立

教育・学修支援センター

横田 明紀

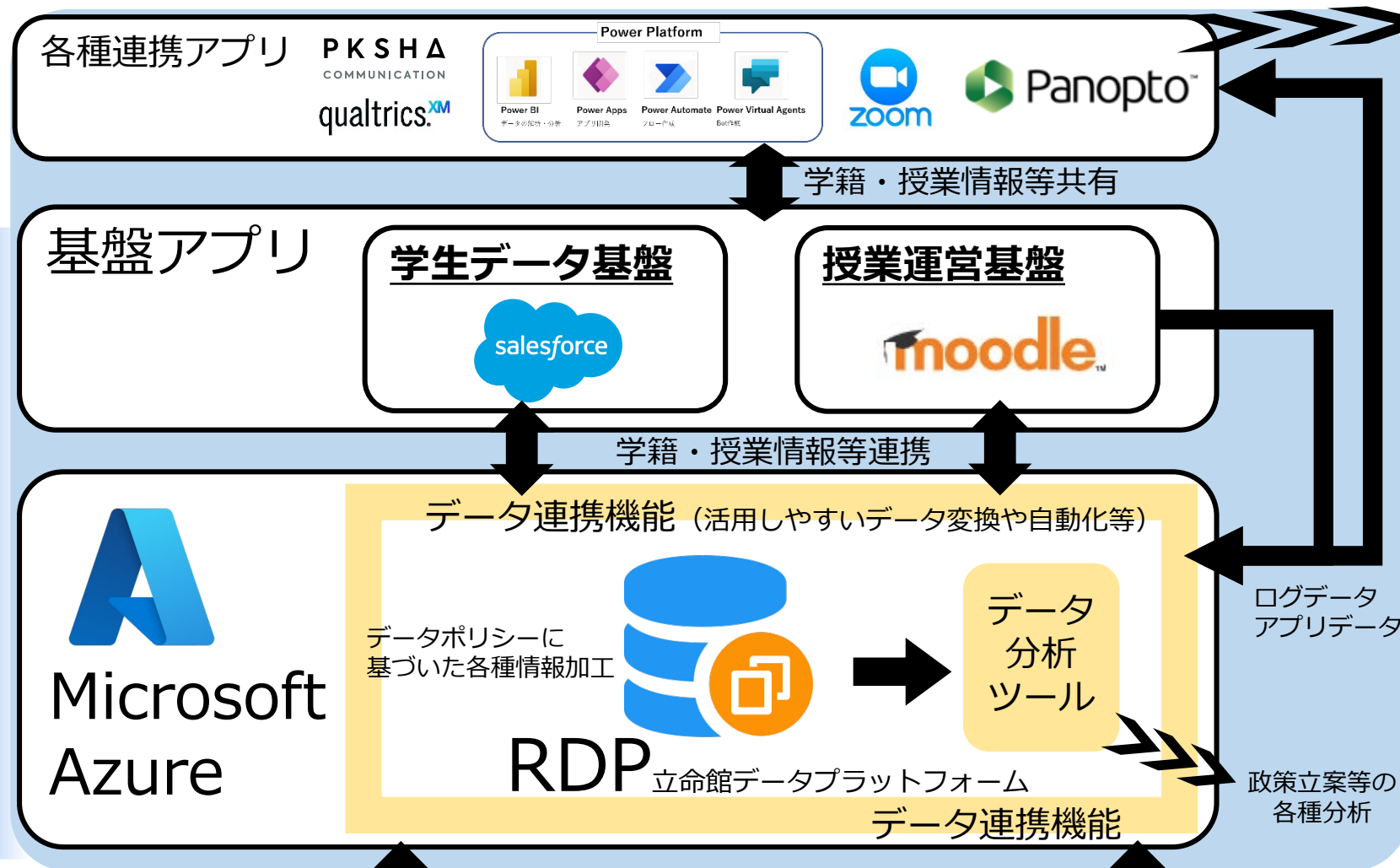
Futurize.

きみの意志が、未来。

『ChatGPT等の生成系AI(人工知能)への対応について』(教学委員会[2023年4月24日])より抜粋

- 新しいテクノロジーの可能性と限界性、あるいは功罪を見極めながら、教育研究機関である大学には、**教育における探究力の向上と研究の発展に寄与する適切な利活用の方法を積極的に模索する**ことが求められていると考えています。
- テクノロジーの進展を考えると、**生成系AIの使用そのものを完全に禁止することは現実的ではありません**。したがって、生成系AIの活用にあたっては、教育・学修の注意事項・留意事項として学生及び教員に向けて周知を図っていくとともに、**教育FDとして活用できる授業実践や教育モデルの提案など、本学の教育・学修支援センターと連携をはかり、学生・教員向けのサポートや情報を随時提供します**。

基本的な基盤整備(2023.6)



各部門等におけるサービス向上、業務効率化、データ分析などのためのツール導入

立命館教育研究DX推進室



- ・データポリシー運用
- ・左記基盤運用
- ・各種プロジェクト実施
 - ・Salesforceでのアプリ構築
 - ・RDPでのAI活用
- ・プロジェクト進捗管理
- ・部課横断課題推進

ChatGPTをはじめとする生成系AIを巡る技術の急激な進展に伴い、社会の様々な場面でその利用が急速に広まりつつある

ただし

こうした技術をどのように使っていくかは、まだまだ試行錯誤の段階である

そうしたなかで

今フォーラムでは「高等教育において生成系AIをどのように活用するか」について、学内の先進的な事例などについて共有を図る

■ ご講演

● 15:40-16:00

AIを使えない課題からAIを使うだけで終わりにたくない課題へ
市野 泰和 先生(立命館大学 経済学部・教授)

● 16:00-16:20

大学での授業と生成系AIとの距離感ー国際法教員の経験からー
西村 智朗 先生(立命館大学 国際関係学部・教授)

■ 質疑

● 16:20-16:55: 全体に対する質疑応答

■ 閉会

● 16:55-17:00: 閉会挨拶